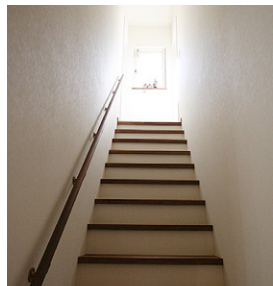




「しっかりやってくれるので任せて大丈夫!
この家が気に入ってます。長生きしたいと思うようになった。」



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.022
カムホームストーリー
須崎市・Yさん家
竣工:2011年7月
設計担当:岡本 理絵



「あれは、こじさんと親切やなと思った」

家が古くなってきたことから建て替えを考えはじめたYさま。タイセイホームが大誠工務店として須崎市で事務所を営んでいた頃、「ローコスト住宅」と綴られたチラシが目にとまりました。しかし「引っ越しの手間を考えると…」と先延ばしになっていた家づくり。自分たちで床を張り替えるなどして暮らしを続けていましたが、次第に災害などの不安を感じはじめようになり、本格的に家づくりへと踏み出しました。予算面を第一に考えていたYさまは、「資金計画は絶対に必要」と話します。細部まで丁寧に計上されたタイセイホームの家づくり計画で、不安なところがスッと取り除かれ、「こじさんと親切にやってくれたね」と当時を振り返る旦那さま。地元の工務店ということ、予算面でも安心できたことが、Yさまの家づくりの決め手でした。

「この家が気に入ってます。長生きしたいと思うようになった」

海外旅行が趣味の奥さまが「好きなんです」と笑顔で話すのは、トルコで買ったという3枚のタイルをはめ込んだオーダーの洗面台。上下控えめに並ぶタイルは主張し過ぎず、チューリップの絵柄、カーネーションのデザインがより惹き立っています。キッチンの背面には結婚当初からずっと使い続けているという家具をビタリと配置。「自然素材の家は古い家具がすんなり馴染むね」と奥さま。予算を削り、古くても愛せる家具を最大限に生かせるのは、物を大切にする奥さまにはうれしいところです。「1Fのお掃除はこれで全部いく」。お部屋のちょうど真ん中にあるキッチンカウンター下に設けたコンセントのおかげで、1F全部に掃除機がかけられると言います。差し直すたびにかがむ動作がなくなりスムーズにお掃除ちゃん。「動きが最小限になって良いのか悪いのか(笑)」と、奥さまの親しみやすい笑みがこぼれます。「この家が気に入ってます。長生きしたいと思うようになった」と、うれしいお言葉をいただきました。

「岡本さんがしっかりやってくれるので任せて大丈夫!
あとは嫌なところだけ自分が理解しておくこと」

お酒が好きな旦那さまは自分で木を焼いて晩酌用のテーブルを手づくり。お部屋の窓からお庭に植えた木や植物を眺め春夏秋冬を感じながら晩酌をするのがささやかな楽しみ。お気に入りのお部屋で穏やかな時間を過ごせる幸せを噛みしめています。

工事中、「ここは開けたほうが明るいかもしれんね」と大工さんから提案をもらったという階段突き当たりの窓。暗いと足元が不安な階段が、一気に明るく安全になりました。センス良く装飾された広々玄関は、「靴がたくさん並ぶのが嫌だったから来客用を正面にして、自分たちは奥で靴を脱いで入る動線にしました」と話す奥さま。住み始めてからは「結局正面で脱いでもあんまり意味がなかった(笑)」と振り返り、これから家づくりをされるご家族へアドバイス。「岡本さんがしっかりやってくれるので任せて大丈夫!あとは嫌なところだけ自分が理解しておくこと」だと話します。その隣りでローンのこともしっかりと勉強しておくべきだと、優しい笑顔で一言を添えてくださった旦那さまです。